



シンポジウム開催案内

自動車用材料シンポジウム

自動車用鉄鋼材料と、その競合材料

1. 日 時：平成7年11月4日(土) 9:20~16:30
2. 場 所：大阪大学吹田キャンパス 第130回秋季講演大会第19会場
3. 共 催：(社)日本鉄鋼協会、(社)自動車技術会 (企画)自動車用材料共同調査研究会、協賛：(社)軽金属協会
4. プログラム

9:20~9:35	開会挨拶および基調講演	司会 岡本篤樹(住金)
9:35~10:10	自動車用薄鋼板の開発と適用技術の動向	武智 弘(福岡工大)
10:10~10:45	自動車用特殊鋼の動向	白田松男・菊間敏夫(新日鐵)
		上原紀興(大同)
11:00~11:35	自動車用ステンレス鋼の現状と今後の動向	司会 加藤俊之(川鉄)
11:35~12:10	自動車用Al材料の動向	富士川尚男(住金)
		川瀬 寛(古河電工)
		司会 大沢紘一(NKK)
13:20~13:55	自動車用金属材料の動向	谷口庸一(三菱自工)
13:55~14:30	自動車用有機材料の動向	佐原誠一(トヨタ自動車)
14:45~16:30	パネルディスカッション 「テーマ：自動車用鉄鋼材料と、その競合材料」	司会：遠藤孝雄(横国大)

自動車技術会に所属する当研究会委員の方々を迎えてパネル討論を開催致します。
 パネラー：自動車技術会、材料部門委員会委員、日本鉄鋼協会、自動車用材料検討部会委員
5. テキスト代：3,000円(消費税本会負担) 会場にてテキストを購入の上、ご入場下さい。
6. 問合せ先：(社)日本鉄鋼協会 生産技術部門事務局 技術企画グループ 日下・松本
 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 TEL(03)3279-6023(代) FAX(03)3245-1355



成果報告会開催案内

●高強度鋼板の疲労強度向上研究部会

溶接構造物の疲労強度支配因子とその向上対策

船舶・橋梁・建築などの溶接鋼構造物では高張力鋼を使用して軽量化をはかっている。しかし溶接鋼構造要素の疲労強度は高張力鋼を用いても殆ど上昇せず、場合によっては静的強度の高い方が疲労強度が低下し、溶接構造物における疲労強度は“強度逆依存”だという声も聞かれ、疲労損傷事故も多発している。

そこで本成果報告会では、溶接鋼構造物の疲労強度に対する現状認識を出発点とし、「高強度鋼板の疲労強度向上研究部会(略称：EFS部会)」での3年間におよぶ因子分析、対策の共同研究を通じて、疲労強度を向上させる手法について報告し、さらに今後の課題についての取り組みを議論する。

1. 主 催：(社)日本鉄鋼協会、(財)日本学術協力財団
2. 協 賛：(社)鋼材倶楽部、(社)土木学会、(社)日本金属学会、(社)日本建築学会、(社)日本高圧力技術協会、(社)日本鋼構造協会、(社)日本材料学会、(社)日本造船学会、(社)日本溶接協会、(社)溶接学会
3. 日 時：平成7年11月27日(月) 9:00~17:00 4. 場 所：JAビル 8階 第一会議室
5. プログラム

9:00~9:10	開会の挨拶と趣旨説明	豊貞雅宏(九大) EFS部会長
9:10~9:40	橋梁における疲労強度設計の現状と問題点	三木千尋(東工大)
9:40~10:00	建築における疲労強度設計の現状と問題点	矢部喜堂(清水建設)
10:00~10:30	溶接継手の疲労強度に及ぼす諸因子	征矢勇夫(新日鐵)
10:40~11:10	母材の疲労強度向上因子及び後処理による溶接継手の疲労強度向上対策	吉武明英(NKK)
11:10~12:00	残留応力場における強度強化モデルの疲労き裂伝播シミュレーション およびガス線加熱による溶接構造物の疲労強度向上効果	豊貞雅宏(九大)
13:00~13:40	変態超塑性と溶接残留応力	加藤 昇(東工大)
13:40~14:10	鋼材成分および溶材成分が溶接残留応力に及ぼす影響	志賀千晃(川鉄)
14:10~14:30	溶接施工が溶接残留応力に及ぼす影響	高橋一比古(船研)
14:30~14:50	溶接まま継手における疲労強度向上の試み	太田昭彦(金材研)
15:00~15:20	低ヤング率溶材による溶接継手の疲労強度向上効果	瀬戸厚司(新日鐵)
15:20~15:50	マイクロセパレーションが疲労強度に及ぼす影響	勝田順一(長崎大)
16:00~16:55	パネルディスカッションー今後の研究に関する提言ー 船舶設計現場からの要望 溶接残留応力分布の推定と疲労強度 総合的見地から見た研究の取り組み 自由討議	笹島 洋(IHI) 松岡一祥(船研) 矢島 浩(広大)
16:55~17:00	閉会の挨拶	志賀千晃(川鉄) EFS部会幹事長
6. 定 員：100名 7. 参加費：1,000円(当日会場にて徴収いたします)
8. テキスト：予約は「鉄と鋼」新刊予約案内(本号488頁)によりお申し込み下さい。なお当日会場でも販売いたします。
9. 申込み・問合せ先：参加希望の方はお名前、会社名、所属、住所、電話・FAX番号を明記の上、11月20日(月)までに日本鉄鋼協会 生産技術部門事務局 部会担当グループ 澤田京子 TEL(03)3279-6023(代)/FAX(03)3245-1355宛FAXにてお申し込み下さい。